

大鹿村議会だより

令和7年4月15日 発行：大鹿村議会

大鹿村議会3月定例会

令和7年3月

令和7年3月大鹿村議会定例会が3月5日から14日までの10日間の会期で開会されました。今定例会に提案された議案等は、付議事件22件、議員発議1件で、すべて原案どおり可決、同意されました。お願・陳情は陳情1件で、不採択となりました。

付議事件

一部改正

▼配偶者手当を段階的に廃止、子に係る手当を増額、俸給表の改正等です。

議案第1号 大鹿村犯罪被害者等支援条例の制定

議案第2号 大鹿村簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正

議案第3号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改

議案第4号 大鹿村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改

議案第5号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改

正▼村長、副村長、教育長の給与の月額が上がりま

す。

議案第6号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改

議案第7号 大鹿村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

▼国の政令改正による補償基礎額の改正等です。

議案第8号 大鹿村非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

▼退職報奨金の勤務年数区分を拡大。現在、大鹿

村では該当はありません。

議案第9号 令和6年度大鹿村一般会計補正予算（第8号）

議案第10号 令和6年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

議案第11号 令和6年度大鹿村立診療所特別会計補正予算（第5号）

議案第12号 令和6年度大鹿村介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第13号 令和6年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

議案第14号 令和6年度大鹿村簡易水道事業会計補正予算（第5号）

議案第15号 令和7年度大鹿村一般会計予算

議案第16号 令和7年度大鹿村国民健康保険特別会計予算

議案第17号 令和7年度大鹿村立診療所特別会計予算

議案第18号 令和7年度大鹿村介護保険特別会計予算

議案第19号 令和7年度大鹿村後期高齢者医療特別会計予算

議案第20号 令和7年度大鹿村簡易水道事業会計予算

議案第21号 大鹿村監査委員の選任

議案第22号 大鹿村教育委員の選任

▼長尾勝さんが同意されました。

▼令和7年度の一般会計減です。

議案第15号 令和7年度大鹿村一般会計予算

万円です。主な新規事業

は次ページのとおりです。詳細は「広報おおし

か」をご参照ください。

議員発議

発議第1号 大鹿村議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

▼国の法改正に伴う条項

等の改正です。

陳情

総務・社教常任委員会

▼耐震診断の状況は?

大鹿村は長野県の中でも耐震診断率が低いといふ事を受け、建築士協会の方が村の住宅事情を確認に来ました。昭和56年

▼同報無線整備工事の内容は?

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

▼賃上げができるよう中小企業、小規模事業所への支援は必要だが、全国一律は現実的でない等の理由で不採択となりました。

現在バラバラである同報無線の情報と、大鹿村ケーブルテレビ、文字放送、ホームページの情報を統一して、LINEでも配信するようにし、村外からも携帯電話で情報共有できるようになります。

以前の木造住宅をお持ちの約300件の方に通知を出していますが、現在診断された方は20件程度です。

▼保育所の人員体制はどうなっているか?

正職員2名、会計年度任用職員3名と調理員ですが、来年度1名正職員が増員されます。

▼交通弱者対策補助金の拡充は?

現在、いかまいカーを

▼小中学校の電子教科書と紙の教科書の使用状況

▼スクールバスについて

定です。小学校は4キロ以上、中学校は6キロ以上に自宅のある児童生徒が、スクールバスを利用できるため、来年度から釜沢線を増便予定です。

利用して村外へ行かれる方へ、月に2回補助をしていましたが、今後は通院に限り回数制限なしで半額補助をしていきます。

はどうなっているか?

紙の教科書と電子教科書を併用していますが、電子教科書は過渡期であり、必要な教科から購入しています。

令和7年度当初予算

会計別	予算額	増減率
一般会計	26億5000万円	17.4%
国民健康保険	1億4754万円	-2.3%
村立診療所	1億54万円	1.0%
介護保険	1億5213万円	7.1%
後期高齢者医療	2189万円	7.0%
簡易水道事業	1億4493万円	-22.2%
総合計	32億1702万円	12.6%

令和7年度主要新規事業

同報無線整備工事	1000万円
県防災行政無線設備更新負担金	1950万円
J-AERT施設整備工事	1000万円
国土強靭化地域計画策定委託料	132万円
フォトコンテスト事業	128万円
特定個人情報取扱業務支援	420万円
標準準拠システム導入事業	1億1726万円
消費生活センター運営負担金	19万円
福祉施設設備改修事業	2639万円
農家基本台帳等作成委託料	110万円
農地情報処理委託	407万円
農業振興機械整備事業	379万円
農業人材確保対策補助金	570万円
農業経営安定・効率化支援事業補助金	250万円
ワーキングホリデー事業補助金	70万円
農道改良事業(農道黒川線)	3000万円
スクールバス購入	550万円
ろくべん館駐車場舗装工事	550万円
交流センター建物改修工事	660万円
(当初予算、新規事業いずれも万円以下四捨五入)	

一般質問

て進めます。

分散型エネルギーインフラプロジェクト検討委員会は検討不分では？ マスター・プラン作成に疑問

今回のマスター・プランの柱になるのですか。

者とは、このマスター・プラン作成までの契約です。プラン作成を進めていくなかで、各分野で先進的な事業展開を進めて実績を上げている4つ、ないし5つの企業や事業者、NPO法人と協力関係を構築できました。これらと有機的に結びつきながら、長期的に協力関係を構築できるというところに意義があります。

コンサルタントとは今後も引き続き検討を進めていくのですか。

林業部会による根羽村視察



加藤哲夫議員

熊谷村長2期目にあたっての決意は？

質問 熊谷村長2期目に

入りました、その決意を

お聞かせください。例を

あげます。観光事業としての大鹿歌舞伎、山岳観光、有機農業推進等において、どのようにメリハリをつけ推進していく

↓ 山岳観光について
は、南アルプス信州大鹿エリアの山岳環境保全適正利用推進協議会において安全対策の検討などを行っています。

また、令和7年度から

協力金の導入も予定されており、こうした環境整備の基盤の上に立って、今後は情報発信やイン

フォメーションセンターの整備、設置、マイカー規制の是非や送客方法などについて検討します。

↓ 有機農業推進については先進地の事例などを参考にしながら、徐々に進めます。

↓ 村民の皆さん的安全、村の信用にかかわるもの、緊急性のあるものについては、最優先と考えます。そのほか個々の事業ごとに優先順位を決めながら、時間をかけ

3月に報告 検討委員会で改めて意見伺う

質問 森林部会、林業部のいずれにおいても十分な検討がなされていない状況でのマスター・プラン作成には疑問が残ります。今後の進め方を含め、村長はいかがお考えですか。

木材チップを作り、それを活用した温泉施設を作ることで大量に確保できます。木材チップの原料を村の中で大量に確保できることが基盤となります。

柱となる事業を活用して、木材チップを作り、それを活用した温泉施設を作ることで大量に確保できます。木材チップの原料を村の中で大量に確保できることが基盤となります。

質問

森林資源の活用が



林業部会による根羽村視察

一般質問



伊波ゆかり議員

公民館映画上映の企画運営方針は？

質問

令和6年度の公民館映画上映事業は、親子向けのアニメ映画と、人権啓発映画の2本が上映され、参加者は合計で17名であったと伺いました。

今年1月に民間主催のドキュメンタリー映画の上映会があり、こちらは数か月前から企画し、QRコードでの申込みやチラシの配布、近隣のフリーペーパーや新聞への掲載、SNSでの発信、若い方たちに見てほしいからということで、昼の部は別室で託児を実施などと、会場使用料や映画レンタル料などの支払いがあるので、赤字にならないようしつかりと広報活動をしたそうです。

その1週間後に上映されれた公民館映画上映事業の人権啓発映画は参加無料で参加者はわずか3名でしたが、民間主催のこのドキュメンタリー映画は有料で、前売り1200円、当日1500円で、昼夜2回の上映で村内外から100名以上の参加があつたと伺いました。

冬の同じような時期に交流センターという同じ会場での開催で、『誰に何を見せたいか』ということ、こんなにも参加人数が違うということは、とても驚きました。

各家庭でも動画配信サービスなどで気楽に映画を視聴できるようになっていますが、公民館で映画上映をする意義について、どのようにお考えでしょうか。

また、過去10年間の公民館映画上映事業の実績は、年間上映数が1~4本で、近年は参加者が年間20名以下とのことです。令和7年度も今年度

と同様に59万9000円の予算が映画使用料として計上されています。その内訳と費用対効果、また今後の公民館映画上映事業の企画運営方針について、教育長はどのようなお考えをお持ちか、具体的な内容をお聞かせください。

今後は検討していく

教育長

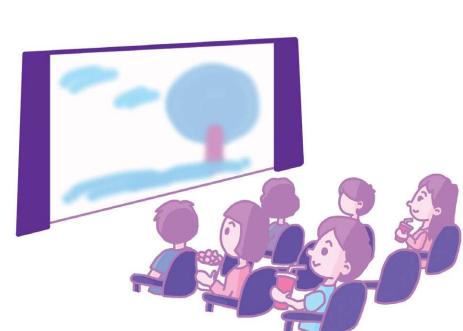
昨年度の企画、アニメ、人権映画につきましては、担当者が業者と打ち合わせた後、候補の中から私を含めて相談し決定しました。

公民館活動の中で、特に映画会の運営方針は明記してあるものはあります。公民館活動の役割として、村民の生きがいや幸せを支援するため、文化娯楽や教養向上のためのイベントや講座を提供しており、映画上映もその一環です。

トにこういうものを、という、そこまで精査しては選んでいないことは事実です。今の世の中では、公民館映画というものの役割とか、立ち位置というか、そういうものを選んでいくことの難しさを感じております。

来年度の予算の内訳は、親子映画会として児童福祉推薦映画のフィルム借り上げ料として税込みで40万7000円、人権教育映画はドキュメンタリー映画のフィルム借り上げ料として2回分として13万2000円、合計として53万9000円を計上しております。

費用対効果は参加人数だけでは測れませんが、効果は低くなっていると言わざるを得ないと思います。



ですが、公民館事業は営利を目的とした興業ではないので、数が少なくて実施しているということも、今後は、検討していく必要があるかなと思つております。

意見

今後は参加人数が少ない要因の分析や、住民のニーズの把握、作品選定の基準など、企画運営について、ご検討いただくとともに、村民への周知もしていただけたらと思います。

開催時期、時間帯の設定、希望する内容の映画ではなかつたなど、今振り返ってみれば考えられます。

一般質問



田代久夫議員

中山間直接支払制度について

質問 国の中山間地域等直接支払制度の目的は、農業生産条件が不利な中山間地域において、集落等を単位として継続的に農用地を維持・管理していくための取り決めを締結し、それに従つて農業生産活動を行う場合に、農用地の傾斜と面積に応じて一定額の交付金を、5年以上農業を続けることを約束した農業者に交付する制度です。大鹿でもこの事業に取り組み、約20年ぐらいたちますが、今の現況をお聞きします。

在は5地区となっています。この制度は5年以上継続がルールとなっており、5年ごとに契約を見直しています。令和7年度以降は2地区に減つておきます。やはり農家の皆さんのが高齢化や人員不足が非常に深刻化しているというのが現状であります。

質問 高齢化とともに、1～2年ならいいけれども、5年という長さは先が見えないという時期になってきてています。特に傾斜地など、荒廃農地や耕作放棄地の発生ということで、これからはどう進めていくか答弁をお願いします。

村長 機械化とかスマート化による効率的な農業を推進していくということになろうかと思います。次年度、高性能なりモコンの草刈機械を村で導入する予定です。これらを運用してみて、その状況、効果等を見ながら、今後どのように農地保全も増えてきており、現

へ生かしていくか、対応策を検討したいと考えております。

意見

傾斜地というか、里山を守るということでは大事な事業です。大鹿ではまた、美しい村の関係で、先を見たときに心配されるわけですが、こいつの事業に限らず、地域、農地を荒らさないような事業に取り組んでいただきたいと思います。

農業の価格高騰対策支援金事業について

質問 肥料、農薬、資材、電気、燃料、飼料等の価格が高騰する中、価格高騰対策支援事業は大変あります。

村長 今年度は18名です。この事業は農林水産省の設定した物価高騰対策支援事業を活用して行つており、国からの交付金を財源として運用しています。国の支援制度では年度ごと、4月から翌3月までの12か月が対象となっていますが、実際に集計や申請等、事務処理を行う場合に、1月から3月分を取りまとめて

鹿村民、税金滞納者以外となっています。また対象月が4月から12月までで、肥料、農薬は予約購入が1月から3月までなので、ほとんどが対象になります。暖房器具などを使う施設ハウスは1

月～3月までは一番燃料費がかかります。この事業の対象者は何人いますか。

月～3月までは一番燃料費がかかります。この事業の対象者は何人いますか。

鹿村民、税金滞納者以外となっています。また対象月が4月から12月までで、肥料、農薬は予約購入が1月から3月までなので、ほとんどが対象になります。暖房器具などを食べないわけではありません。どうか、1月から12月までを対象に、また、この18名に限らず、農業をしている方には支援が行き届くような方策、事業をしていただきたいと思います。

意見

1月から3月分についても支援を行うとなると、今後、村単独で対応することのは非を含め、検討させていただこうことになるのかなと考えております。

米の関係ですが、去年24年度は31年ぶりに価格が上がりましたが、いつまで上がるという保証もないでの、支援のほどをよろしくお願いします。

て年度内に申請を出すのは実質的に不可能で、12月分の支払いは翌1月の処理となりますので、その時点できりまとめて、12月分までということ

一般質問



秋山光夫議員

大鹿村水道水の安全 性PFASについて

質問

大鹿村民の皆さん
は、村営水道、井戸水、
湧き水、沢の水等で命を
繋いでいます。観光で来
られた人々は、都会の
水道水に比べ大変おいし
いと、食事の際よく飲ま
れ、ペットボトルに入れ
て持ち帰るほど好評です。

大鹿村は令和6年3月
31日現在、人口880人、
村水利用者733名、そ
の他井戸、湧き水の利用
者は147名となっています。
村水は月1回の水
質検査が行われています。
井戸水、湧き水の利用者
も、一部の方は自主的に
水質検査を行っている現
状です。

健康への悪影響が懸念
される有機フッ素化合物
PFASをめぐり、国に

より全国調査が2024
年5月～9月に行われま
した。日本の暫定目標値
は水1リットル当たり50
ナノグラム（ナノは10億
分の1）とされています。
この目標値を超える地域
はありませんでしたが、
2020年以降では、東
信、北信、中信、南信す
べての地域で検出されて
います。

欧米では20ナノグラムを
超えると健康リスクが高
まるといわれ、日本より
厳しい20ナノグラムの基準
を決めています。それだ
け身近な有害物質になっ
ている現状を、新聞もた
びたび報道しています。

村民の健康と、日本で
最も美しい村に観光で来
られる人たちの期待に応
えるため、村長はどのよ
うな対応をお考えでしょ
うか。

村長 全国各地で水道水
等から基準値を超えるP
FASが検出されたとの

情報が、マスコミ等でも
報道されました。

大鹿村においても、現
在、水質検査項目に上げ
ていませんが、昨年1月、

国、県からの要請により、
村内の簡易水道水源等2
か所において、PFASの
検査を行っています。

検査結果は、いずれも目
標値とされる50ナノグラ
ムの10分の1未満、これ

は検出下限値未満という
ことで、水質として全く
問題はありませんでした。

大鹿村内の水道水につい
ては安心してご利用いた
だけると考えております。

質問 1万種以上あると
される有機フッ素化合物

は、耐熱、耐水、水や油
をはじく特性から、布製
品、食品を包装する材料、
フライパンのコーティン
グ、航空機の泡消火剤、
半導体の生産工程で幅広
く使われています。その

便利さと裏腹に、健康リ
スクについて、毒性や蓄
積性が確認されたため、
世界保健機構（WHO）

やストックホルム条約で
も規制されています。毒

性が強く、発がん性があ
る種類は、輸入・製造が
禁止されました。他のフッ
素化合物を使つ

せんので、心配は全くな
いと考えております。
今後、義務化等がされ
る中で、万が一水質検査
等により検出されるよう
なことがあつた場合には、
適切に対応してまいります。
現状は国等の対応の
推移を見守っているところ
です。

質問 このような状況の中、
環境省は定期的な水質検
査と国の基準値を超えた
場合の改善を法律で義務
づけることを大筋で決め
たと新聞にあり、国の対
応も変わってきています。
今後の対応について、村
長はどうお考えになつて
いるかお聞かせください。

質問 国において対応を
検討しているということ
で、法制化がされること
になるかと思います。そ
れらに従い適切に処理し
ていきたいと考えております。

土壌等に残留し、水道水
に混入する恐れはどこで
もあり得るといわれています。
現在は国が定めた暫定
目標値を超えて、水質
改善は努力義務にとどま
り、水道法上の測定義務
はありません。長野県の
簡易水道は中山間地に多く、周辺環境から考え含
まれる可能性はないと、
検査未実施の自治体も多
い状況です。

現在は国が定めた暫定
目標値を超えて、水質
改善は努力義務にとどま
り、水道法上の測定義務
はありません。長野県の
簡易水道は中山間地に多く、周辺環境から考え含
まれる可能性はないと、
検査未実施の自治体も多
い状況です。



松澤武裕議員

大池マウンテンバイクコースの管理運営方法は？

質問

原においてマウンテンバイクのコースの建設が行われています。現在下りコースの工事中で、繰り越しにより完成は6月頃と担当から聞いています。

下りコースは村が管理

質問

今年度から大池高原におけるマウンテンバイクのコースは、まだ半分で、未完成の状態になります。全体完成後の管理運営方

式については、指定管理者制度等が考えられます。下りコースだけができた状態の運用等については、村が管理し、使用許可の申請があれば応じていくと想定されています。

この下りコースに於いては、そこ辺についての村長のお考えをお聞きしたいと思います。

今後このコースを使っていく中で、村が整備する事業ですので、事故や怪我等がないとは言い切れず、懸念されると思います。事故なども、村の方で考えておかなければいけないと思いますが、

基本的にはマウンテンレール等での事故については、そういうたところを走行したりすることについて、入られる方の自己責任、それから、安全対策については、村としても法的なところも含め、しっかりと対応しておも、しっかりと運用することによって対応してまいりたいと考えております。

質問

現在、大池高原に整備中のマウンテンバイクコースですが、今年度下りコースを整備しておりまして、次年度で上りコースを整備する予定で

ます。計画全体としては、下りコースは若干繰り越しになりますが、今年度事業で完成する予定ですけれども、全体の計画としては、まだ半分で、未完成の状態になります。全体完成後の管理運営方式については、指定管理

これからそのコース関係が増えたかということがあります。

また、黒川牧場については農振農用地であり、農振農用地の指定をされている農地に自転車コースを作っていくということについては、解除とか、許可とか、いろいろなことをしていかないと事業が進められないと考えておりますが、そこ辺についての村長のお考えをお聞きしたいと思います。

今後このコースを使っていく中で、村が整備する事業ですので、事故や怪我等がないとは言い切れず、懸念されると思います。事故なども、村の方で考えておかなければいけないと思いますが、

基本的にはマウンテンレール等での事故については、村としても法的なところも含め、しっかりと対応しておも、しっかりと運用することによって対応してまいりたいと考えております。

質問

この下りコースについては村が管理していくことですが、新年度には1760万円の上りコースの予算が計上されています。このコースについては、担当者の説明は大池周辺のコースも含まれているという他、黒川牧場内のコースも含まれているということでしたら、昨年の村長の説明では、大池周辺の初心者コースは村が整備するという説明だったと記憶しておりました。

今後このコースを使っていく中で、村が整備する事業ですので、事故や怪我等がないとは言い切れず、懸念されると思います。事故なども、村の方で考えておかなければいけないと思いますが、

基本的にはマウンテンレール等での事故については、村としても法的なところも含め、しっかりと対応しておも、しっかりと運用することによって対応してまいりたいと考えております。

質問

この自転車コースについては、完成が7年度末で大池の周辺はできると思います。今の黒川牧場の方については、予

算化されたとしても、農振除外とかいろいろなことがあります。

今後このコースを使っていく中で、村が整備する事業ですので、事故や怪我等がないとは言い切れず、懸念されると思います。事故なども、村の方で考えておかなければいけないと思いますが、



伊那市での試乗の様子

国会議員へ要望活動

1月～3月の議会活動

- 1月6日 消防団出初式
- 1月16日 活性化プロジェクト委員会
- 1月17日 郡議長会・三団体新春懇談会
- 1月22日 町村議会広報研修会
- 1月24日 全員協議会・臨時議会
- 1月27日 三遠南信市町村議会議長会総会
- 1月28日 商工会新年会
- 1月29日 中部伊那県要望活動
- 1月31日 北部ブロック町村議會議員総会
- 2月5日 飯伊市町村議員研修会
健康づくり推進協議会
- 2月6日 地域ブランド推進協議会
- 2月
12～13日 国会議員要望活動
- 2月17日 ゆめみらい南信州研修会・総会
- 2月18日 分散型エネルギーインフラプロジェクト検討委員会
- 2月19日 県議長会総会
国民健康保険運営協議会
- 2月20日 さくら祭り実行委員会
北部事務組合議会
- 2月21日 観光施設検討委員会
- 2月25日 南アルプス山岳環境保全連絡協議会
- 2月26日 水道運営協議会
議会運営委員会・全員協議会
- 2月28日 広域連合議会
社会福祉協議会理事会
- 3月4日 予算説明会
- 3月5日 3月定例会(～14日)
- 3月9日 福祉と健康のつどい
- 3月12日 活性化プロジェクト委員会
- 3月13日 美しい村講演会
美しい村づくり推進本部会議
- 3月18日 議会だより編集会議
- 3月19日 リニア連絡協議会
- 3月26日 さくら祭り準備

国道152号線地蔵峠方面は、令和2年7月豪雨で飯田市側の道路が大きく被災して以来、通行止めが長く続いています。昨年蛇洞沢復旧対策の協議会が立ち上がり、復旧案の検討が行われていますが、まだまだ先が見えない状況です。

そこで、2月12日に議員全員と事務局で上京し、地元選出代議士、宮下一郎衆議院議員への要望活

動を行つてまいりました。

翌日は、昨秋リニューアルした銀座NAGANOのショッピングモール内、移住相談のスペースを見てきました。平日でしたが、何組か移住相談の方がいらしていました。



宮下一郎代議士との懇談

午後からはNTTのecty Laboという最先端のICT技術を活用した地域課題解決の取り組みを体感できる施設を訪問し、スマート農業の実証圃場などを見学しました。

1月29日に中部伊那4町村の正副議長で、県への要望活動に行つてきました。大鹿村からは松川インター大鹿線と国道152号、高齢者の移動支援について要望してきました。

また、1月31日には北部ブロックの議員総会が開催され、研修会と、9月の県への要望活動の報告等が行われました。

中部伊那県要望・北部ブロック議員総会



北部ブロック議員総会